

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (学 術)	氏名	PRASARTPORN SIRICHOKE JIRADA
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1・2 項該当		
論 文 題 目 INEQUALITY IN EDUCATIONAL ATTAINMENT: MEASUREMENTS AND DETERMINANTS			
論文審査担当者 主 査 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 高橋 与志 審査委員 広島大学大学院国際協力研究科 教授 市橋 勝 審査委員 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 後藤 大策 審査委員 広島大学大学院国際協力研究科 教授 金子 慎治 審査委員 政策研究大学院大学 教授 Patarapong Intarakumnerd			
〔論文審査の要旨〕 本論文は、教育的達成、具体的には学校教育期間の不平等とその決定要因を中心として分析したものである。国別データに加え、タイを事例に中退者の実際の通学年数や大学院教育を反映したより詳細な教育期間のデータを用いて実証分析を行っている。 論文は全 8 章からなる。章別構成は、まず第 1 章が序論、第 2 章が理論的背景、文献レビュー及び研究の方法論、第 3 章がタイにおける教育の概観である。第 4 章と第 5 章は国別データ、第 6 章と第 7 章はタイを事例とした実証研究である。第 4 章では、アジア 15 カ国のデータを用いて教育期間の不平等の測定方法について比較検討し、指標として教育ジニ係数が優れていることを示した。また、世界的に不平等は縮小している一方で、その主要な原因が先進国では初等教育の就学率減少と中等教育の向上が、途上国では初等教育不就学者の減少と同就学率の増加であることを示した。第 5 章では、世界 69 カ国データによる固定効果モデルの重回帰分析で、教育の不平等の決定要因を明らかにした。また、同様のデータを用いて、教育期間が労働生産性に対して正の効果があるという結果を得た。第 6 章では、タイの家計調査から抽出した個人の教育期間に関するデータを用いて県別の教育ジニ係数を算出したうえで、地方別の平均教育期間から受ける影響を比較分析した。第 7 章では、個人レベルの教育期間および県レベルの教育期間の不平等の決定要因について、それぞれ重回帰分析した。前者では親世代の教育期間がもたらす効果が認められ、とりわけ父親が母親より大きな影響を及ぼしていることが分かった。また、タイにおける教育の私的収益率を推定し、性別では女性の方が全般に収益率が高いことを明らかにした。第 8 章は結論である。当該分野における新たな貢献としては、とくに第 6 章、第 7 章でより実態を反映した教育ジニ係数に基づき不平等の決定要因を実証的に明らかにした点が評価できる。 また本論文の主な内容の一部は、査読付論文 1 篇として刊行済みである。他の主要な分析結果についても、査読付き論文としての投稿準備を進めている。以上の審査の結果、本論文の著者は博士 (学 術) の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。			